

2019(平成31)年に、茨城県で「第74回国民体育大会」(国体)が開催されます。37の正式競技のうち、下妻市は「少年男子・女子ソフトボール競技」(高校生以下クラス)の会場として予定されていることから、計画的に準備を進めています。このコーナーでは、茨城国体の成功に向け、市民の皆さまと協力して運営していけるよう国体関連の情報を発信していきます。

茨城国体での活躍を目指して「ソフトボール体験教室」を開催

茨城県は、平成31年開催の第74回国民体育大会において優秀な成績を収めるため、将来、選手としての活躍が有望視される子どもたちを発掘し、計画的に育成・強化することを目的とした「いばらきスポーツアカデミー」を開催しています。

下妻市では平成25年度に引き続き下妻二高グラウンドで2月28日、「いばらきスポーツアカデミー・ソフトボール体験教室」が開催されました。

講師には、女子ソフトボール競技の北京五輪金メダリストで、2014年全日本大学女子ソフトボール選手権大会優勝監督の三科真澄氏(東京国際大学女子ソフトボール部監督)を迎え、下妻市近隣の小・中学生165名が専門的な技術やチームプレーの大切さを学びました。

体験教室では、「守備で心がけることは何ですか」などと常に子どもたちに問いかける講師の三科さん。子どもたちから返ってくる「一歩目を早くする」「声を出す」などの声を受け止め、会話のキャッチボールをしながら実演し、一流の技のポイントを解説していました。また、技術の向上に合わせて、メンタル面も大切な要素として「自分だけでなく、仲間のことを考えながら練習し、プレーすることが上達につながる」などと熱心なアドバイスがありました。

下妻中学校女子ソフトボール部で主将を務める上原奈保さんは「キャッチボールやゴロの取り方など、実



キャッチボールでの投球動作のポイントを解説する三科さん

際に動きを見せてくれるので分かりやすかった。この経験を生かして、春の総体では県大会1位を目指して頑張りたい」と意欲を見せていました。

当市での教室開催を見守った茨城県ソフトボール協会の須藤柊利理事長からは「ハード面の環境もさることながら、市全体がまとまっている印象があり、雰囲気がとてもいいし、人の温かさを感じる。今回のような事業を通じて下妻市の皆さんにもっとソフトボールに関心を持ってもらい、平成31年に実施される国体に向け、盛り上げていっていただきたい」と話が聞けました。

問い合わせ 生涯学習課 ☎45-8997

「こころの健康づくり」を考える

市は3月14日、3月の「自殺対策強化月間」にちなみ、自殺予防をテーマとした講演会を千代川公民館ホールで開催しました。

「気付いてください こころのサイン ～ストレスケア外来の最前線から～」と題した坂元薫医師(東京女子医科大学病院神経精神科教授)の講演に、市内外から112人が集まりました。自殺予防やこころの健康問題は、深刻で難しくなりがちなテーマですが、坂元医師は現代型うつ病とは何か、薬を使った効果的な治療法、周囲の対応の仕方などを巧みな話術で語られました。「なまけているように見えるが医学的に治せる病気」「治そうと頑張らない」「自殺しない約束をする」「自分の生き方の癖を知る」など、分かりやすくユーモアを交えた表現と動画を交えたスライドに、参加者のうなずく姿が多く見受けられました。

最後に、セルフケアとして「ストレスを減らす方法」「うつ病にならないための7つのストップ」というスライドが映された時には、メモをとる参加者の眼差しは真剣でした。

市では、今後も各種講演会や医師・カウンセラーによる「こころの健康相談」などの事業を通じて、こころの疾患で悩む方やその家族などを支援していきます。

問い合わせ 福祉課 ☎43-8352



工夫をこらしたスライドで講演する坂元医師

ほっとレポ・ライン Hot Repo Line 市民の声

もう一つの「下妻小学校」 同じ校名の縁から交流

平成24年度に下妻小学校のPTA会長を務めた司代直樹さん(下妻市・田町)。インターネット検索から福岡県筑後市に同じ校名の「下妻小学校」があることを知り、PTA会長になるのを契機に交流を申し出ました。今回は、同じ校名の縁から始まった交流について司代さんからのお便りを紹介します。



筑後・下妻小の玄関前で子どもたちと一緒に(司代さん:後列・左)

皆さんは、ご存知ですか?

福岡県筑後市に、もう一つの「下妻小学校」があることを...

筑後市は、福岡県南部の筑後平野の中央に位置する田園都市です。そして、もう一つの「下妻小学校」は、その筑後市の南西部にあり、緑豊かなのんびりとした雰囲気の中にある全校生徒66名の学校です。

3年前、インターネットで「下妻小学校」を検索した時に下妻市のほかにもう一つ、九州の筑後市に「下妻小学校」があることを知り、驚いたのと同時にとても関心が湧き、どうにか交流できないものかと電話をかけてみました。先方の校長先生は、私の唐突な同名校による交流の話に戸惑った様子でしたが、たまたまその時にPTA会長の古賀さんが会議で学校に来ていたことで話ができ、学校を訪問する話が進みました。

そして、平成24年2月4日、私が地元消防団の研修旅行で博多に行ったときに、少し足を延ばして「筑後市立下妻小学校」を訪問したことで、両校のPTA会長同士の交流が始まり、昨年、一昨年と、筑後・下妻小の恒例行事の一つ「ドロリンピック」に参加してきました。「ドロリンピック」とは、たっぷり水が張られた田んぼで行われる運動会のことです。水着にゴーグル姿の子どもたちに交じり、

泥んこになりながら小旗を取り合う「どろんこフラック」、有明海で使われる漕スキーを引く「どろんこそりりレー」を楽しみました。子どもたちの純粋無垢な笑顔、その姿を見て目を細める地域の方々、古き良き時代の風景がここに 있습니다。ここに来ると地域の方々の温かさ、優しさを肌で感じ、改めて子どもたちは「地域の宝」なんだと感じさせられます。

今年2月14日(土)、私は4回目となる筑後・下妻小への訪問に、稲葉市長よりお預かりした「シモンちゃんピンバッチ」を子どもたちに届けてきました。

そして、3月6日(金)には、筑後市から古賀PTA会長をはじめ4人の方々を下妻市を訪れました。まず下妻小学校を案内し、道の駅を見学した後、下妻市役所で稲葉市長を表敬訪問しました。まだまだ小さな交流ですが、今後も「下妻小学校」同士の交流が末永く続くことを願っております。

最後に、今年6月18日(木)に開催される「ドロリンピック」の参加者を大募集しております。泥にまみれたい方、童心に返りたい方、お待ちしています。ただし、現地までの交通費などは自己負担になりますのでよろしくお願いします(笑)

問い合わせ 司代 ☎090-1450-7129



下妻市役所を表敬訪問
前列右から筑後市・太田黒さん、稲葉市長、増田下妻市議、後列右から筑後市・下川さん、江崎さん、下妻市・司代さん、筑後市・古賀さん、塚越下妻市議